

				シアヌークビル港コンテナターミナル経営・技術向上プロジェクト	技プロ	■							
				シハヌークビル港多目的ターミナル整備計画	有償	■						71.76	
				シハヌークビル港新コンテナターミナル整備計画準備調査事業	協準	■							
				港湾運営アドバイザー	個別専門家		■						
				電子海図策定支援プロジェクト	技プロ	■						3.0	
				洪水対策支援計画	無償	■						15.10	
				洪水地域における緊急橋梁架け替え計画準備調査	協準		■						
				関税政策・行政アドバイザー	個別専門家	■							
				インフラ分野のボランティア	JOCV/SV	■						71.76	

協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考	
				2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度			
開発課題 1-2 (小目標) 農業振興・農村部の生計向上 農業振興プログラム	全国灌漑開発現況調査結果に基づき、優先される地域の灌漑整備事業を支援するとともに、流域水資源管理、調整メカニズムの構築、灌漑施設の運営・維持管理体制の強化と人材育成、農民による適切な水管理とのための水利組合運営の強化などを支援する。また、稲作技術(種子、肥料などの農業資材、収穫後処理技術など)の改善、営農の多様化(魚養殖、家畜、野菜、果樹などの導入)を支援し、総合的な農業生産性の向上と農民の生計向上を図る。	灌漑排水政策アドバイザー	個別専門家	■								
		流域水資源利用プロジェクト	附帯技プロ	■	■	■	■			6.0		
		トンレサップ西部流域灌漑施設改修事業	有償	■	■	■				42.69		
		種子生産・普及プロジェクト	技プロ			■	■	■	■			
		ブノンペン南西部灌漑・排水施設改修・改良事業	有償	■	■	■	■	■		56.06		
		ビジネスを志向したモデル農協構築プロジェクト	技プロ	■	■	■				4.0		
		土壌硬化剤STEIN技術を活用した灌漑・農業施設造成整備等に関する案件化調査	中小企業支援	■	■							
		ベトナム、カンボジア、タイにおける戦略作物キャッサバ侵入病害虫対策に基づく持続的生産システムの開発と普及プロジェクト	科学技術		■	■	■	■			広域案件	
		アセアン諸国等のキャパシティ・ビルディング強化事業	マルチ	■	■						農水省東南アジア諸国連合(ASEAN)事務局拠出金	
		アセアン地域における食品加工・流通統計整備支援事業	マルチ	■	■						農水省ASEAN事務局拠出金	
		アセアン+3緊急米備蓄体制確立拠出金事業	マルチ	■	■						農水省ASEAN事務局拠出金	
		アジアにおけるSPS関連対策・越境性感染症対策総合支援事業	マルチ	■	■						国連食糧農業機関(FAO)/国際獣疫事務局(OIE)拠出事業	
		アジア・太平洋地域における動物衛生対策活動支援事業	マルチ	■	■						OIE拠出事業	
		“ワンヘルス”による動物疾病対策・食料安全保障強化事業	マルチ	■	■						OIE拠出事業	
		東南アジア地域持続的水産業推進事業	マルチ	■	■	■					農水省SEAFDEC拠出事業	
		気候変動適応型灌漑排水施設保全等対策事業のうちメコン河流域食料安全保障支援	マルチ	■	■						農林水産省メコン河委員会(MRC)拠出金	
海水魚種苗生産技術向上プロジェクト	技プロ		■	■	■	■		2.0				
農業・農村開発分野の草の根技術協力	草の根技協	■						1.0				

【現状と課題】

農業分野はGDPの約3割、労働人口の約5割を占める主要産業であり、特に主食であるコメの増産は図られてきたが、コメの輸出量は少なく園芸作物及び水産物も隣国からの輸入に多くを依存するなど、農家所得は低水準に留まっている。今後は、農家所得の向上及び農村振興を図るべく、国内需要を満たすとともに輸出を促進することが重要であり、生産性や品質の向上のみならず、営農の多角化及び商業化、加工業の促進等を通じた付加価値の向上、市場へのアクセス等が課題となっている。

【開発課題への対応方針】

農民の生計向上に寄与するとともに、主要産業としての農業セクター振興を図るため、コメの生産性と品質向上を目指し、西部及び南部地域を中心とした流域レベルの統合水資源管理能力の強化、灌漑施設の改修、整備やコメ優良種子の生産・普及を支援する。また農民の生計向上や将来的な農水産品加工業への展開の観点から、営農の改善及び多様化、商業化、農民の組織強化への支援を行い、将来的な農水産業の展開に寄与する。

			農業・農村開発分野の課題別研修他	課題別研修他	■								
			国際かんがい排水委員会等活動支援調査事業のうち 国際かんがい排水委員会活動支援調査	農林水産省技協	■								
			国際かんがい排水委員会等活動支援調査事業のうち 国際水田・水環境ネットワーク活動支援調査	農林水産省技協	■								
			農業農村開発技術活用促進調査事業	農林水産省技協	■	■	■	■	■	■	■	■	■
			海外農業農村地球環境問題等調査事業のうち 農村防災計画検討調査	農林水産省技協	■								
			海外技術協力促進検討事業のうち 農業インフラシステム海外展開促進調査	農林水産省技協	■								
			海外技術協力促進検討事業のうち ライフサイクルコスト低減型整備検討調査	農林水産省技協	■								
			海外技術協力促進検討事業のうち かんがい水管理技術海外展開支援調査	農林水産省技協	■								

重点分野2 (中目標)	生活の質向上														
開発課題2-1 (小目標) 都市生活環境の整備	【現状と課題】 近年の経済成長を受けて、都市部に住む人口は約25%となり、この増加傾向はしばらく続く見込みとなっており、急激な都市化によって、首都の交通渋滞、環境の悪化、郊外へのスプロールといった都市問題の深刻化が懸念されている。これに伴い、都市環境整備は公共交通整備、公衆衛生、環境保護などの視点で重要性を増しており、また計画性の欠如からくる都市機能の低下が課題となっている。			【開発課題への対応方針】 都市部の経済発展を下支えするとともに、都市機能を強化するために、インフラ整備支援を通じて、都市部に住む住民の生活環境の改善に焦点を当て、関連する法の整備や関係機関の人材育成を通じて計画性の向上を目指した支援を行う。											
	協カプログラム名	協カプログラム概要	プログラム目標	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考		
	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度									
都市環境改善プログラム(上下水道、排水、廃棄物)	上下水道支援はブノンペンでの成功から地方展開を進めてきており、引き続き資金協力と技術協力のハードとソフトの支援を通じた水道事業の改善を図るとともに、法制度の整備を支援していく。なお、下水道や廃棄物関連の支援は調査などを通じて今後の支援の在り方を見極めながら検討を進める。	○国家戦略開発計画2014-2018において目標が定められている。2025年までの都市部給水率100%の達成、2018年までの全ての公営事業者の公社化の達成に貢献する。 ○対象となる地方都市の水道事業者の運営指標改善 ○ブノンペン都における浸水頻度・程度の減少及び下水整備に関する計画の策定	水道事業人材育成プロジェクトフェーズ3	技プロ	—————						3.68				
			シムリアップ下水道拡張整備計画	有償	—————						71.61				
			コンボンチャム及びバタンバン下水道拡張計画	無償	—————						33.55				
			カンボット下水道拡張計画	無償	—————						29.85				
			第三次ブノンペン市洪水防御・排水改善計画	無償	———						37.0				
			第四次ブノンペン都洪水防御・排水改善計画	協準	———										
			ブノンペン都下水・排水改善プロジェクト	開発計画	—————										
			有機性廃棄物の加工技術を活用した汚泥堆肥化に掛かる案件化調査	中小企業支援	—————										
			廃棄物中間処理技術の普及及び再資源化促進に向けた事業調査	中小企業支援	—————										
			都市水環境分野の課題別研修他	課題別研修他	—————										
都市機能強化プログラム(運輸、電力)	首都ブノンペン都市交通マスタープランに沿って、バス路線の拡大や都市鉄道の整備を図る。車両整備・登録に関する人材育成やバス会社の運行能力向上を通じ、都市内交通事情の改善を図る。また、信号の整備や橋梁修復等の都内の交通インフラ整備を図る。また、電力支援は電力網整備拡充(無電力地域の縮小含む)に向け、系統運用、運用維持管理能力向上を通じて安定的な電力供給に貢献する。		車両登録・車検制度の行政制度改革プロジェクト	技プロ	—————						3.9				
			ブノンペン交通管制システム整備計画	無償	—————						17.27				
			ブノンペン公共バス運営改善プロジェクト	技プロ	———										
			ブノンペン公共バス交通改善計画準備調査	協準	———										
			ブノンペン都市鉄道整備計画準備調査	協準	—————										
			ブノンペン公共バス交通改善計画	無償	—————										
			住宅政策	国別研修	—————										

<p>開発課題 2-2 (小目標)</p> <p>保健医療・社会 保障の充実</p> <p>保健システム強 化プログラム</p>	<p>【現状と課題】</p> <p>保健医療分野については、これまでに母子保健と結核対策を中心として、施設建設、人材・制度面などの強化を目指して長期間にわたる支援を行ってきた。この結果、多くの保健指標は改善しつつある。しかしながら、医療人材の数の不足と質の低さや、特に地方部における医療サービスへのアクセスの低さが課題となっており、近隣諸国との比較では依然として低水準にある。</p>			<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>近年乳幼児死亡率・妊産婦死亡率の改善が報告されているが、新生児死亡率は依然として高く、母子保健分野を中心とした保健システム強化の支援は継続して実施する。また、保健省が重視するユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）に焦点を当て、医療保険制度の拡充を支援する。</p>									
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考	
		<p>妊産婦、新生児ケアを含む母子保健分野を中心に、保健サービスの質改善、保健人材の拡充及び保健インフラの整備を含む保健システム強化に継続して取り組む。またUHC達成に向け、インフォーマルセクター向け健康保険導入に向けた協力を行い、医療サービスへのアクセス改善に貢献する。</p>	医療保障制度構築プロジェクト	技プロ			—	—	—				
			分娩時及び新生児期を中心とした母子継続ケア改善プロジェクト	技プロ			—————				5.05		
			国立母子保健センター拡張計画	無償		—————				11.93			
			シハヌーク州病院整備計画	無償		—————					15.54		
			スパイリエン州病院改善計画	無償		—————				10.77			
			パタンバン州病院改善計画準備調査	協準		—————							
			社会保障制度のための生体情報を用いた個人特定技術普及促進事業	民間提案型技協			—————						
			保健分野の草の根技術協力	草の根技協		—————				1.3			
	保健分野のボランティア		JOCV/SV		—————								
	保健分野の課題別研修他		課題別研修他		—————								

重点分野3 (中目標)	ガバナンスの強化を通じた持続可能な社会の実現															
開発課題 (小目標) ガバナンスの強化	【現状と課題】 グッドガバナンスは全ての開発の基礎であり、カンボジア政府は、汚職対策、法整備・司法改革、公共財政管理改革、行政改革などを推進しているが、法律・政策・制度を立案・運用する人材の不足が障害となっている。						【開発課題への対応方針】 ガバナンス分野における諸改革に対し、人材育成・組織能力強化を中心に支援する。具体的には、行政機構の組織強化、公務員の能力強化を通じた行政サービスの質向上、法整備の構築・普及・定着・適正な運用に資する支援を行う。									
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考				
	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度										
法整備・行政機能強化プログラム	司法分野では、民法・民事訴訟法等の運用改善のため、国土整備・都市化・建設省や裁判所といった関係機関とも協働し、関連法令の起草、実務書式の作成と普及、判決公開と分析といった活動を行う。 行政改革（地方分権化・業務分散化を含む）については、中央・地方行政機構の能力強化および中央・地方行政官の育成を図る。加えて、分野横断的な行政基盤を強化するため、女性の経済的エンパワメントを通じたジェンダー主流化にも取り組む。更には、自由かつ公平な選挙の実施に向けた支援を行う。公平な徴税文化の定着を図り、健全な財政管理体制を実現するため、中央・地方の租税総局職員の能力強化に取り組む。	人材育成奨学計画	無償	—————						2.99						
		租税総局能力強化プロジェクトフェーズ2	技プロ	—————						2.8						
		財政・金融強化のための人材育成	国別研修	—————												
		公共財政管理分野の課題別研修他	課題別研修他	—————												
		民法・民事訴訟法普及プロジェクト	技プロ	—————						5.5						
		民法・民事訴訟法運用改善プロジェクト	技プロ	—— — — — —												
		地方行政官研修運営能力向上プロジェクト	技プロ	—— — — — —												
		女性の経済的エンパワメントのためのジェンダー主流化プロジェクト	技プロ	—— — — — —						3.8						
		選挙改革支援アドバイザー	個別専門家	—————												
		法整備・行政機能分野の課題別研修他	課題別研修他	—————												
		行政サービス	国別研修	—— — — — —												
		ガバナンス分野のボランティア	JOCV/SV	—————												

開発課題 (小目標) 公共財への取組	【現状と課題】 着実に経済成長を続けるカンボジアは、地域及びグローバルコミュニティの一員としての自覚を高めていると同時に、世界的公共財としての環境諸問題の解決や対人地雷撤廃など、国際的コミットメントを国内で着実に実施してゆく責務を負う。環境管理は、長年の努力にもかかわらず、十分な国内体制が整わず、対応能力も極めて限られるのが現状である。また地雷除去に関しては、オタワ条約における2019年の撤廃目標は達成不可能とされるなど、地雷・不発弾は依然、生命・財産への脅威かつ開発の阻害要因となっている。一方で、技術面では、長年の地雷除去経験から、他国へのノウハウを移転できるまでに成長した。		【開発課題への対応方針】 環境に関しては、政策・制度構築、基礎研究能力向上、行政監視能力向上を中心に、国内の環境管理体制の基盤作りを支援する。地雷・不発弾に関しては、「2017-2025年地雷対策国家戦略」の目標の一つである地雷被害者をゼロにするための取組を支援するとともに、カンボジア地雷対策センター（CMAC）の自立及び他国への国際貢献を支援する。						支援額 (億円)	備考			
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間								
					2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度			2019 年度	2020 年度	
環境管理プログラム	環境管理に必要な体制作りを、基礎研究能力や行政能力の向上を通じて支援する。	トンレサップ湖における環境保全基盤の構築プロジェクト	科学技術	—————						3.8			
		REDD+戦略政策実施支援プロジェクト	技プロ	———							5.3		
		REDD+戦略支援アドバイザー	個別専門家		———								
		環境影響評価（EIA）を含む環境公害管理能力向上プロジェクト	技プロ		—	—	—	—	—	—			
		環境保全分野の課題別研修他	課題別研修他	—————									
		途上国森林保全プロジェクト推進事業	農水省技協		—	—	—	—				複数国向け	
		環境保全分野のボランティア	JOCV/SV	—————									
対人地雷・不発弾除去プログラム	地雷・不発弾除去を安全かつ効率的に遂行する上で必要な機材の整備及び処理事業の運営などについて支援するとともに、依然、地雷・不発弾による脅威が残存する他国への高い技術力を活かした国際貢献について支援する。	第二次地雷除去活動強化計画	無償	———							8.98		
		第三次地雷除去活動強化計画	無償		—————						18.1		
		第七次地雷除去活動機材整備計画	無償		———						13.72		
		対人地雷・不発弾除去分野のNGO連携無償資金協力	無償	—————							1.5	地雷処理1件、不発弾処理1件	
		不発弾・地雷分野に関するラオス・カンボジア南南協力	第三国研修		—————								
		不発弾・地雷分野に関するイラク・カンボジア南南協力	第三国研修		—	—	—	—					

【凡例】「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(=個別機材)、「個別研修」(=課題別研修他)、「JOCV」(=青年海外協力隊)、「SV」(=シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」(=第三国研修)、「現地国内研修」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、「中小企業支援」(=中小企業海外展開支援事業「ニーズ調査」、「案件化調査」及び「普及・実証事業」、並びに「基礎調査」、実線「———」(=実施期間)、破線「- - - -」(=実施予定期間))